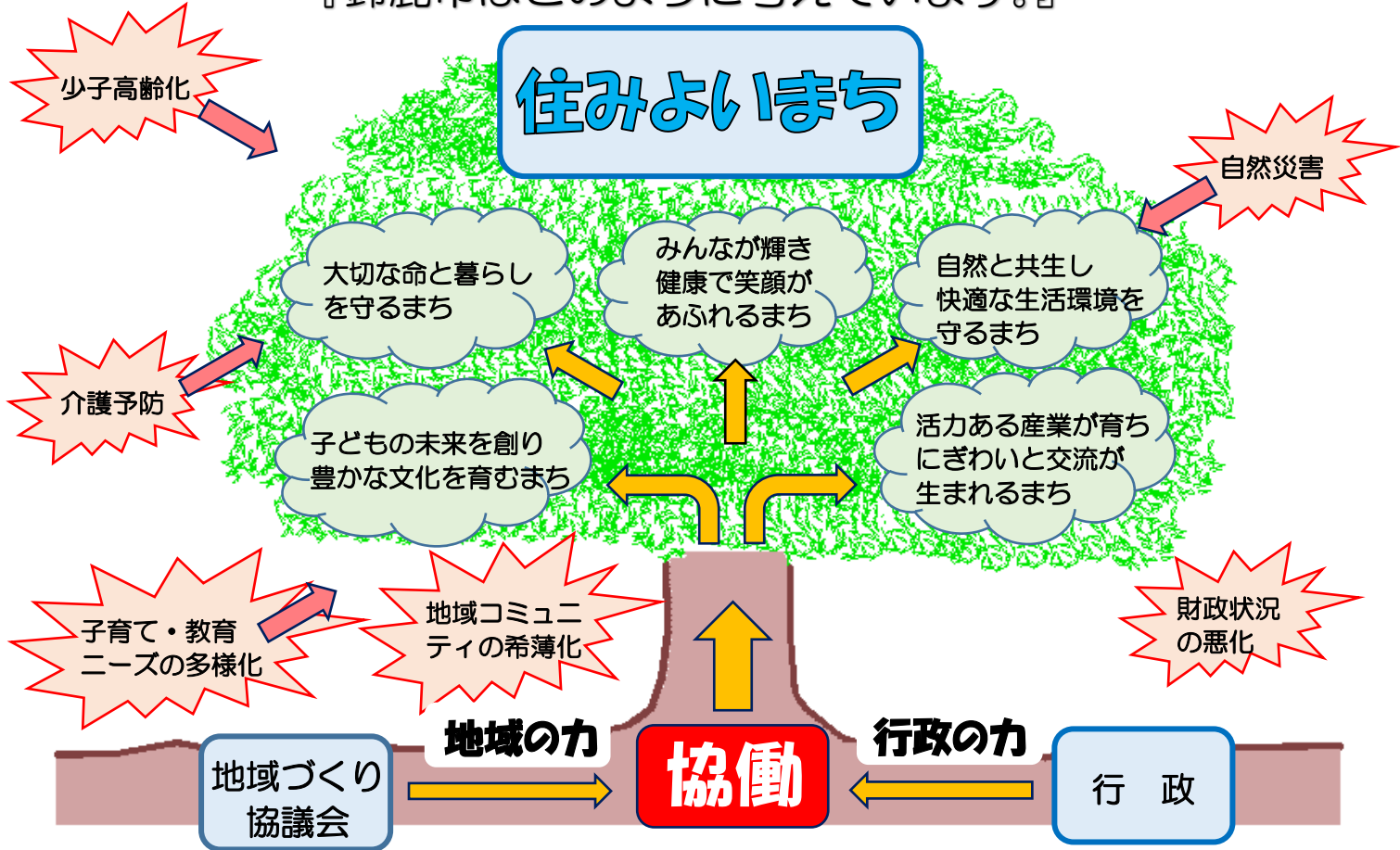


20年後 30年後も持続可能なまちづくりに向けて

『鈴鹿市はこう考えています。』



「住みよいまち すずか」を育むために、
「地域」と「行政」の総ぐるみでまちづくりに取り組みます。
『**行政としての取り組み**』と、『**地域のできる取り組み**』が
合わさって**協働**の根を広く張ることで、
「住みよいまち すずか」という木が大きく育ちます。

地域の力を発揮するためのしくみ = 『地域づくり協議会』

地域づくり協議会

- ・人と人、団体と団体の**つながり**を強くし、地域内での連携協力体制を築くことができます。
- ・地域での様々な取組みを改めて見直し、これからの住みよい地域のために何が**必要か**を**みんなで考えること**が出来ます。
- ・介護予防、高齢者の生活支援、健康づくり、防災防犯、子どもの健やかな育ち、伝統文化の継承、環境美化などに、**地域の知恵**と工夫が活かされます。

すずかに関わる全ての人々が地域づくりの一員です。